

内水ハザードマップ

内水ハザードマップとは

近年では、市街化の進展や、局所的で短時間の強い集中豪雨の増加によって、下水道の排水能力を超える雨水が流出し、「内水はんらん」が発生するようになりました。

寝屋川市では、市民のみならず、「内水はんらん」に対する正しい知識や、避難方法などの情報を提供し、浸水被害を最小化することを目的として、「内水ハザードマップ」を作成しました。

「洪水ハザードマップ」「防災マップ」とあわせて、わかりやすいところに保存、または掲示してください。



内水はんらんと外水はんらんの違い

大雨によって起こるはんらんには、内水はんらんと外水はんらんの2種類があります。

内水はんらん

市街地に降った雨が下水道の排水能力を超えたり、ポンプで排水できなくなると「内水はんらん」が発生します。「内水はんらん」は、雨水管などから水があふれてしまいます。



外水はんらん

大雨によって、淀川(本川)や寝屋川流域の河川の水位が上昇して、堤防を越えたり、堤防が決壊すると、「外水はんらん」が発生します。「外水はんらん」は、短時間に大量の水が市街地に流入します。



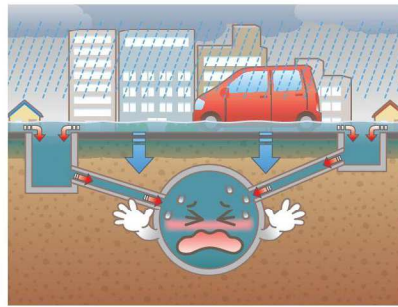
内水はんらんのメカニズム

どんな時に内水はんらんが起きるのでしょうか？

寝屋川市の位置する寝屋川流域は、大部分が川より低い地域であることに加え、都市化により雨が地面にしみ込みにくくなっています。

そのため下水道で集めた雨水を強制的に河川へ放流しています。

下水道の排水能力を超える雨が降ると、雨水を排水できなくなり、内水はんらんが発生することがあります。



内水はんらんの仕組み

内水はんらん



市街地に降った雨は、下水道などを通して川に排水されます。

外水はんらん



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。川の水位がさらに上がると、堤防の一部が壊れ、破堤により、はんらん水が継続的にまちへ流出します。

被害大

みんなで考えよう

家庭でもできる、いろいろな治水対策

家に降った雨水はできるだけ溜めたり、少しずつ流しましょう。こうした一人一人の気配りが、大きな被害を防ぐことにつながります。

雨水は溜めて庭の水まきに

雨どいから流れ落ちる水はバケツなどに溜めて、晴れてから庭の水まきや花への水やりなどに利用しましょう。水の節約にもなります。



大雨の時はお風呂の水を流さない

特に大雨の時は、お風呂や洗濯の水などたくさん水を流さないようにして、雨が止んでから流すようにしましょう。



庭にはできるだけ土を残しておく

庭には植物を植えるなど、できるだけ土を残しておいて、降った雨水が地面にしみこみやすくしておきましょう。



庭の雨水は少しずつ流す

庭に池を作って雨水を集めたり、地面を少し掘って雨水を溜めてから地下にしみこませるなど、雨水が一度に流れないようにしましょう。



浸水時の行動と心得

情報の収集と慎重な行動を

防災行政無線・テレビ・インターネットなどで最新の気象情報・避難情報に注意して、デマやうわさなどに惑わされないように慎重に行動しましょう。



避難する前に確認を

家を出るときにガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを落としましょう。また、家族に連絡先、安否情報などのメモを残しましょう。家の戸締まりを忘れずに。



2階以上へ避難を

自宅の2階や近くの高い建物に避難し、水が引くの待ちましょう。ひざ上まで浸水すると流される恐れがあり、非常に危険です。



足元に注意を

避難時は、短靴を履いて下さい。長靴は、水が入ると危険です。また、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。浸水すると水の中はよく見えません。



徒歩で避難を

基本的には徒歩で避難しましょう。車での避難は、渋滞が発生したり、浸水すると動けなくなります。



助けあって避難を

お年寄りや体の不自由な人、言葉が分からない外国人などには声をかけ、みんなで協力して助けあひましょう。



特に注意が必要な場所

アンダーパス(地下道)

アンダーパスとは、道路及び鉄道などが立体交差する場合、その下を通ることをいいます。局地的な大雨などのとき、真っ先に浸水する恐れがあります。避難の際には注意しましょう。



地下室

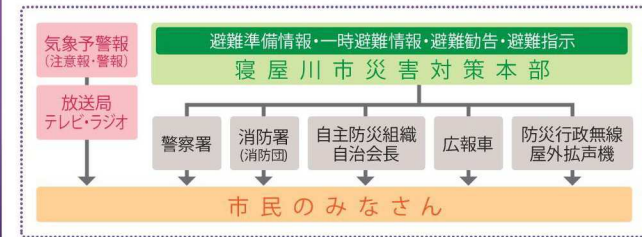
地下室は浸水すると外からの水圧でドアを開けられない場合があります。また、照明は消え、エレベーターなども停止してしまいます。浸水の可能性がある場合は地下室の使用は避けましょう。



生命・財産を守る情報

情報の伝達経路

避難準備情報・一時避難情報・避難勧告・避難指示は、下のような経路で市民のみなさんに伝達されます。避難に関する情報が、どこからくるのか確認しておきましょう。



市から提供される避難情報

避難情報の種類	とるべき行動
避難準備情報	●家族との連絡、非常時持出品の用意等、避難の準備を開始する。 ●避難支援者は、支援行動のための準備を開始する。
一時避難情報	●自宅内の高所など、人的被害を避けることができる場所へ一時的に自主避難を開始する。 ●避難行動要支援者等を必要最小限の移動で安全な場所へ退避させるため、避難支援者は支援行動を開始する。
避難勧告	●指定された避難場所への避難行動を開始する。 ●避難行動要支援者等を指定された避難所へ避難させるため、避難支援者は支援行動を開始する。
避難指示	●避難勧告等の発令後、避難中の住民は周囲の状況を確認しながら避難行動を速やかに完了する。 ●未だ退避していない対象住民は避難行動に速やかに移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動を開始する。

寝屋川市の様々な助成金制度

寝屋川市では、大雨による浸水被害に自助努力される市民のみならず、様々な助成金を交付する制度があります。

雨水貯留タンク設置助成金制度

- 助成対象
 - 市内の一戸建て住宅に設置
 - 新たに製品(容量が80リットル以上の既製品)を購入し、設置される方
- 助成金額
 - 雨水タンクの購入にかかる費用の2分の1とし、上限を3万円とします。(予算の範囲内で先着順となります)



止水板設置工事助成金制度

- 助成対象
 - 市内で止水板設置工事及び設置に伴う関連工事を行う市民及び市内に本社または支店がある事業者
- 助成金額
 - 止水板設置工事にかかる費用の2分の1とし、上限を3万円とします。(予算の範囲内で先着順となります)



両助成制度は、購入前に申請書の提出が必要です。詳細は担当課へお問合せください。(平成27年3月31日現在)

問い合わせ先
寝屋川市 まち建設部水・みどり室河川担当
☎072-824-1181

日ごろからの準備と心得

天気予報や気象情報に気をつけましょう

普段から、テレビ、ラジオ、インターネットなどで気象予報、警報を確認しておきましょう。地上デジタル放送のデータ放送(Dボタン)でも防災情報を確認できます。



土のうを準備しておきましょう

いざというときにあわてないよう、事前に各自で土のうを準備するか、裏面で土のうステーションの位置を確認しておきましょう。



道路の側溝や雨水ますの点検をおこなしましょう

道路の側溝や雨水ますが、ごみで詰まると、雨が流れなくなり、道路冠水などの原因になります。



土のうステーション

非常時の持ち出し品

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 電池
<input type="checkbox"/> ろうそく	<input type="checkbox"/> マッチライター	<input type="checkbox"/> 缶切り	<input type="checkbox"/> 紙コップ・皿	<input type="checkbox"/> ティッシュ
<input type="checkbox"/> 新聞紙	<input type="checkbox"/> 裁縫セット	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> 医薬品
<input type="checkbox"/> 現金(小銭も)	<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> はぶら液体はみがき	<input type="checkbox"/> つえ	<input type="checkbox"/> 防災マップ

災害時に備えた情報

NTTの災害用伝言ダイヤルのかけ方



※災害時のみのサービスです。携帯電話、PHSでは伝言の録音はできません(再生はできません)。

家族の緊急連絡先

氏名	電話(学校・勤務先) (携帯電話)	住所

わが家の避難所

おおさか防災ネットに登録を!

みんなの安心・安全ポータルサイト

「おおさか防災ネット」は、市内に登録された気象に関する注意報や警報、地震情報、海外発生時に市から出される避難勧告などの防災情報を提供するポータルサイトです。

携帯メールアドレスを「おおさか防災ネット」に登録して下さい。登録料は無料ですが、メールにかかる通信料は利用者の負担となります。

登録
おメールアドレスを「おおさか防災ネット」に登録して下さい。登録料は無料ですが、メールにかかる通信料は利用者の負担となります。

この冊子に関する問い合わせ先

平成27年3月 発行:寝屋川市

寝屋川市 寝屋川市上下水道局工務課 ☎072-824-1181